

令和6(2024)年度事業報告書

(令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日まで)

1 公益目的事業について(演劇の振興事業)

1. 「北海道の演劇の向上事業」 演劇の製作公演等による人材育成に関する事業 定款第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

札幌からの演劇創造と発信を目指して公演を行い、制作公演活動を活用して新たな演劇文化の担い手を育成する研修事業を行った。

令和6(2024)年度は、財団付属の創造集団「札幌座」をもとに、新作2作品と再演3作品の実施したほか、研修生を積極的に募集し、演劇制作を通じた人材育成に取り組んだ。

① 【再演】札幌座 Pit「亀、もしくは…」

作・演出: 斎藤歩(札幌座)

出 演: 斎藤歩(札幌座)、川崎勇人(東京乾電池・東京)、宮林康(フリー・東京)、山野久治(風の色)

公演日: 2024年6月6日～7日(4回) 会場: シアターZOO(札幌) 入場者数: 360人

公演日: 2024年6月9日(1回) 会場: 清田区民センター(札幌) 入場者数: 329人

公演日: 2024年6月15日(2回) 会場: 平原通り小劇場(帯広) 入場者数: 161人

公演日: 2024年6月17日～18日(2回) 会場: 美瑛町民センター(美瑛) 入場者数: 160人

② 【再演】札幌演劇シーズン 2024・札幌座公演「西線 11 条のアリア」

作・演出: 斎藤歩(札幌座)

出 演: 斎藤歩(札幌座)、川崎勇人(東京乾電池)、磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)

林千賀子(札幌座)、木村美結(札幌座)、明逸人(ELEVEN NINES)、

沢井星香(ELEVEN NINES)、横尾寛(ヨコオ制作所)

公演日: 2024年7月20日～27日(10回) 会場: 北八劇場(札幌) 入場者数: 1607人

③ 【再演】札幌演劇シーズン 2024 キッズプログラム・劇のたまご「アラジンと魔法のランプ」

脚本・演出: 清水友陽(劇団清水企画)

出 演: 磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)、木村美結(札幌座)、田中春彦(わんわんず)、

山野久治(風の色)、横尾寛(ヨコオ制作所)、前田透(劇団・木製ボーイジャー14号/ヒュー妄)

公演日: 2024年8月10日～17日(7回) 会場: 札幌市子どもの劇場やまびこ座(札幌)

入場者数: 905人

④ 【新作】札幌座第62回公演「民衆の敵」

作:イブセン 演出:斎藤歩(札幌座)

出 演:斎藤歩(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、泉陽二(フリー)、熊木志保(札幌座)、
笠木誠(T-Factry・東京)、宮島健(オフィスコトナー・東京)、明逸人(ELEVEN NINES)、
横尾寛(ヨコオ制作所)

公演日:2024年11月8日～14日(10回) 会場:北八劇場(札幌) 入場者数:1445人

⑤【新作】劇のたまご 音楽劇『雪の女王』

脚本・演出:清水友陽(劇団清水企画)

出 演:磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)、木村美結(札幌座)、成田愛花、山木将平、
清水友陽(劇団清水企画)

公演日:2025年2月15日～16日(4回) 会場:札幌市子どもの劇場やまびこ座(札幌)

入場者数:419人

⑥ 札幌座研修事業

新たな人材育成を目的とした研修生システム(公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ)による俳優養成を行った(通年)。

講師:斎藤歩(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、清水友陽(劇団清水企画)、納谷真大(イレブンナイン)ほか

(2)演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から中高演劇部員のほか、幅広い年齢層と地域市民を対象に、実績ある指導者による演劇ワークショップ、コミュニケーションワークショップを行った。

① 演劇を活用した教育普及・演劇の普及啓発事業

小中高等学校の児童・生徒を対象に、演劇を活用したコミュニケーション教育ワークショップを行った。このほか、教育の現場以外にも、企業研修や、豊かな地域コミュニティ形成のために、地域でのコミュニケーションワークショップ事を行った。

[実施校ならびに実施団体]

北海道札幌厚別高等学校、立命館慶祥中学校、北星学園女子中学高等学校、美瑛町など

[講師]

清水友陽(劇団清水企画)、磯貝圭子(札幌座)、西田薫(札幌座)、熊木志保(札幌座)、
納谷真大(イレブンナイン)、前田透(劇団木製ボーイジャー14号)、戸澤亮(フリー)ほか

2.「北海道の演劇の向上事業」演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1)扇谷記念スタジオ・シアターZOOの運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間を提供し、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的としてスタジオ・劇場を運営、管理した。具体的運営は、運営責任者が運営者の助けを得て行った。

運営責任者：清水友陽(劇団清水企画／北海道演劇財団芸術監督)

運 営 者：斎藤歩(北海道演劇財団理事長)、磯貝圭子(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)ほか

扇谷記念スタジオ・シアターZOOを、①道外の第一級の専門家と協働した上質でオーソドックスな作品創造と上演、②親子で観劇できる良質な作品創造、③道内・海外の優れた団体との交流、④自立した演劇人の育成、⑤若い世代を専門家のいる劇場に招く取り組み、⑥学校現場や地域の集まりに芸術家を派遣、これらの目的で、長期的な展望に立った以下の事業を行った。

① シアターZOO 提携公演(11 作品)

札幌を代表する中堅劇団や若手劇団、プロデュース団体、そして道外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、演劇文化の向上を目指した。

4 月	ru 企画「百年を爪弾く(札幌)」
5 月	ポケット企画「去る者追えず、待ち人来ず。」(札幌) INDEPENDENT「INDEPENDENT:SPR24」(大阪) 劇団演研「さらだ殺人事件」(帯広)
6 月	yhs「トライアル」(札幌)
7 月	intro「ハワイの地平線、テキサスの水平線」(札幌)
7 月	我等、敵モドキ「BOOOMB!!!」(札幌)
11 月	劇団風蝕異人街「ギリシャ悲劇 メディア」(札幌)
	劇団動物園「さよなら方舟」(北見)
	劇団・木製ボイジャー14号「ドララ・キュララ」(札幌)
3 月	弦巻楽団「舞台に立つ」(札幌)

② 札幌劇場祭(TGR)参加公演

〔参加団体〕 大人の事情協議会、風蝕異人街、劇団動物園、劇団・木製ボイジャー14号

〔時期〕 11月1日～12月1日

③ シアターZOO 企画

大阪の左岸族を招聘し2月に特別企画公演として実施した。

札幌座が指導する石狩の児童劇団「碧い海」の「碧き時をかける」を特別企画公演として3月に実施した。

④ シアターZOO を使ったワークショップによる人材育成

「シアターZOO の平台を3日間で直しながらお芝居を考える会」

劇場の平台修繕作業や劇場清掃を行いつつ、戯曲の読み解きを3日間で行い、若手演劇人が触れる機会の少ない近代戯曲を読んで、分析してみることを体験した。(講師:清水友陽、米沢春香)

[時期] 3月4日、6日、8日 [参加者数]のべ25名

(2) 民間劇場「北八劇場」への協力

2024年5月、札幌駅北口に開館する北八劇場の運営に協力した。当年度は2作品の上演を行い、本格的演劇作品や北海道を舞台にした名作の提供を行い、新劇場の初年度ラインナップの充実に貢献するほか、先方の芸術監督(納谷理事)と当方の芸術監督(清水理事)が連携協力して、北海道の演劇文化の振興を図った。

3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指した。

(2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案し、またその実施に際しスタッフの派遣、事業の運営および管理をサポートした。また、当財団が有する地域ネットワークを活用し、洞爺湖町での「地面から生えた毛」の公演に協力し、地域社会における文化芸術の活性化を図った。

① 札幌座 Pit「亀、もしくは・・・」清田公演

公演日:2024年6月9日(1回) 会場:清田区民センター 入場者数:329人

② 音楽劇「地面から生えた毛」洞爺湖町公演

作:清水友陽(劇団清水企画) 演出:西脇秀之

出演:河野千晶、志田杏樹、柴田智之、坪川拓史、山木将平、岡部莉奈

公演日:2024年11月8日

公演地:洞爺湖文化センター 入場者数:249人

③ 札幌座「カフカ経由シスカ行き」幕別町公演

作・演出:斎藤歩

出演:斎藤歩、沢則行

公演日:2024年12月1日

公演地:幕別町百年記念ホール

4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため、「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携し、情報交換会「シアターZOO サロン」を、4月「お花見会」、また、7月「西線11条のアリア」・10月「民衆の敵」・1月「雪の女王」に関連したレクチャーと、4回開催した。

また、ボランティア組織（「清田演劇のつどい実行委員会」「江別演劇プロジェクトWinds」）などと協力して札幌市内および近郊で演劇の普及活動を行ったほか、演劇創造都市札幌プロジェクト、らてるね賞実行委員会など、北海道における演劇を取り巻く環境の改善を目指し活動する市民組織の活動を支援するとともに、「札幌演劇シーズン（札幌演劇シーズン実行委員会）」の企画立案・運営サポートをすることで、市民活動の活性化を図るとともに、地域の演劇関係者の活動を促進した。

(2) 広報紙の発行

当財団の事業を報告・記録する読み物として編集・印刷し、広報活動に利用した。

〔発行回数〕 年2回（4月、10月）

〔発行枚数〕 各500部

2 収益事業について

1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 劇場とスタジオ1・スタジオ2の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOOとスタジオ1とスタジオ2を主に道内の劇団や文化団体に貸与した。

2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1) 会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等、経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託した。

〔受託団体〕 特定非営利活動法人札幌座くらぶ、株式会社 tatt